

# JCAAW

Japan Commerce Association of Washington, D.C., Inc.  
ワシントン日本商工会会報

3月号 2025年 No. 570

## 目次

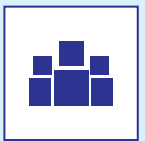
- 会員紹介コーナー……………2
- 研修会報告米国情報通信関連情報 “Trends in the U.S. Information and Communications Technology Sector”  
講演者:国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)北米連携センター長 前田京太郎氏……4
- 日本からの「国外転出者への案内書」……………6
- 広告募集のご案内……………8
- 今月の書評「核戦争:シナリオ」  
ポトマック・アソシエーツ 池原 麻里子……………9
- English Rescue by Jennifer  
「Language and Culture」……………11
- 編集後記……………13

JCAW Copyright © 2025 All Rights Reserved.  
会報内すべてのコンテンツの無断転用を禁じます。

## 今月の特集

### 「会員紹介コーナー」

理事会社の日立製作所さまよりご寄稿いただきました。新会員のご紹介だけでなく、今後も既存会員の活動内容などをお届けして参ります。P.2



### 「日本からの『国外転出者への案内書』」

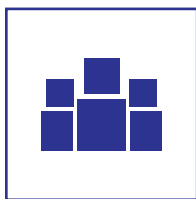
在米日本大使館より、海外赴任などで日本国外へ転出される方向けのご案内です。是非お役立てください。P.6～



## 連載

### 「English Rescue by Jennifer: Language and Culture」

今年はアメリカの司法をテーマに詳しくご教示いただいております。今月は直近の事例も含んだ「Judicial Review」についてご解説いただきました。P.11～



## 会員紹介コーナー

今月は理事会社の日立製作所さまより、質の高い日本のインフラを強かに推し進めるDCオフィスの活動内容などをご紹介します。

会員間の親睦を深めるため、今後も、新規、並びに既存会員の皆様のご紹介を続けていきたいと思います。皆様からの寄稿もお待ちしております。お気軽に事務局([office@jcaw.org](mailto:office@jcaw.org))までご連絡ください!

# HITACHI

Inspire the Next

法人名: 株式会社日立製作所 ワシントンコーポレートオフィス  
代表者: 嶋田 恵一

📍 900 19<sup>th</sup> Street NW, Suite 725, Washington DC 20006

🌐 [www.hitachi.us](http://www.hitachi.us)



(株)日立製作所は、1910年創業、東京に本社を持ち、社会・産業システムの運用技術(OT)、情報技術(IT)、および製品/システムの提供を通じて社会課題解決への貢献を目指すグローバルテクノロジー企業です。2023年度(2024年3月31日)連結売上高は9.7兆円、グループ会社は550社超、約30万人の従業員を雇用しています。

ここワシントン事務所は、1985年に設立され、以来、米国での日立グループプレゼンス向上を目指した連邦政府・州政府との関係構築、シンクタンク・業界団体を介した米国政策動向分析を行っています。

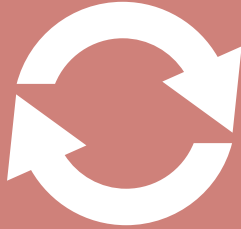
米国では1959年より事業活動を開始し、現在はデジタル(データストレージ、デジタルエンジニアリングサービス)、エネルギー(パワーグリッド)、交通(メトロ向け車両、信号システム)、産業システム(産業機械、システム開発)の4分野で北米向け事業を展開しています。その他、合併会社という形態によりGEベルノバと原子力エネルギー事業を、Hondaと自動車部品製造事業を推進しています。DMV地区では、バージニア州に日立エナジー社の変圧器工場、連邦政府向けITサービス会社である日立ヴァンタラフェデラル社があり、メリーランド州には昨年稼働を開始した日立レール社のメトロ車両工場があります。

このメリーランド州の工場では、ボルチモアメトロ向け、ワシントンメトロ(WMATA)向けの車両生産を計画しており、昨年はWMATA主催「Fleet of the Future Expo」(National Mall)にて日立製造予定の8000シリーズモックアップが公開されました。式典には山田重夫駐米日本国大使他日本大使館関係者、メリーランド州政府、ワシントンDC市等関係者が招待され、山田大使より「この新型車両のような質の高い日本のインフラが、ワシントンの桜のように長く人々に愛され続けることを期待します」とのお言葉をいただきました。



今後も、北米社会・産業インフラ開発・整備への貢献を進めて参ります。

## 登録情報の ご確認、更新をお忘れなく



法人会員、個人会員ともにご登録情報（会員名、電話番号、メールアドレスなど）にご変更がある場合は、お気軽に事務局までメール（office@jcaw.org）にてご連絡ください。

会報やその他の情報がタイムリーにお手元に届きますよう、登録情報の更新にご協力ください！

会報やその他の情報がタイムリーにお手元に届きますよう、登録情報の更新にご協力ください！



米国日本通運株式会社は2022年1月より、社名を**NXアメリカ株式会社**へ変更致しました。



帰国の際の引越はNXアメリカにお任せください

お問い合わせ、お申込みはNXアメリカワシントン営業所まで

TEL: (703)-661-8326 (日本語ダイヤル)

URL: <https://www.nipponexpress.com/moving/us/>



## iiicareer インテレッセ DC支店

### 地域密着で25年の信頼と実績

「人・仕事・地域社会」をつなぐ架け橋に  
お客様一人ひとりに寄り添い、  
信頼できるパートナーとしてサポート。

Interesse DCオフィスは、皆様のおかげで25年を迎えました！日英バイリンガル人材の派遣・紹介を通じてWashington, DC地域の特性やニーズを理解し、きめ細やかなサービスを提供します。

#### 当社の強み

- バイリンガル人材のニーズに特化
- 地域密着で安心のサービス
- 政府機関から民間企業まで幅広く対応

#### 提供サービス

- iiicareer事業：人材紹介・派遣、雇用代行サービス
- iiiHR事業：人事コンサルティング、人事情報管理クラウドサービス、各種調査業務
- iii-Media事業：地域情報満載の「さくら新聞」の発行

**interesse international inc. DC支店までお気軽にご相談ください！**

Email: dc@iiicareer.com Tel: 571-384-7117  
1717 K Street NW Suite 900, Washington, DC 20009



## 研修会報告

### 「米国情報通信関連情報 “Trends in the U.S. Information and Communications Technology Sector”」

講演者：国立研究開発法人 情報通信研究機構 (NICT)  
北米連携センター長 前田 京太郎 氏

研修担当理事：須内 康史／清水 梨江子

2025年2月28日(金)、ワシントン日本商工会は国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT)前田京太郎北米連携センター長をお招きし、「米国情報通信関連情報」と題するオンラインと対面のハイブリッド形式の研修会を開催しました。今回の研修会は、ワシントンDCエリアへの降雪の影響により当初2月12日(水)に予定されていた実施日を急遽28日(金)に変更して開催することとなりました。



講演者の前田センター長は、2004年に総務省に入省され、同省において情報通信技術 (ICT) 戦略の策定に携わりながら、民間事業者様による情報通信関連分野での新規ビジネスの立ち上げにも協力されるなど、官民双方の視点から同分野の発展を支えて来られ、2021年からNICTの北米連携センター長に就任されています。今回の研修会では、ICTを専門とする日本唯一の公的研究機関であるNICTの組織概要や戦略領域をご説明頂いた上で、今年1月にラスベガスで開催された家庭用エレクトロニクス分野の国際見本市「CES2025」を概括しながら、米国における情報通信産業や関連政策の動向をご説明頂きました。

また、CES2025でもハイライトとなっていた人工知能(AI)は、もはや単なる技術トレンドではなく、デジタルヘルスやエネルギーといった様々な分野の製品やサービスに溶け込んだものとなっているという現在のテック環境に触れて頂いた上で、この分野における米国から日本企業に対する期待等についてもご紹介頂きました。



講演後に行われた質疑応答では「トランプ政権発足が情報通信関連分野に与える影響は?」、「CES2025に中国企業は出展していたのか?」、「韓国企業の動向は?」等の質問が寄せられました。前田センター長からは、米中関係を巡る地政学情勢なども踏まえた上で、一つ一つ丁寧にご説明を頂き、終了後には参加者の方々から「国際的にも大いに注目を集めるホットなトピックについて解説頂き、非常に参考になった」とのポジティブな

コメントを複数頂戴しました。更に、講演後には会場となりましたダイキン様のオフィスのルーフツ

プにお邪魔し、ワシントンDCを象徴するホワイトハウスを眼下に眺めながら、前田センター長とご参加下さいました会員の皆様との懇親のお時間も設けさせて頂きました。

ご多忙の中、貴重な講演を頂きました前田センター長に改めて厚く御礼申し上げます。また、直前の開催日変更にもかかわらず、対面及びオンラインからご参加下さいました会員の皆様にもこの場をお借りして御礼申し上げます。商工会では今後も会員の皆様にとって有益な機会となる研修会を順次企画・運営して参りたいと思いますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。



以上



Illustration by Emi Kikuchi



**YAMATO  
TRANSPORT  
U.S.A.**

**INTERNATIONAL  
MOVING SERVICE**



お荷物の多い方!時間のない方!  
面倒なお引越は全てまかせて  
ら〜くらく!



**安心**

**引越  
らくらく 海外パック**

箱に入らない家具や  
自転車なども送りたい、だけど安く  
済ませたい!そんな方へ



**丁度  
いい**

**ベーシックプラン**

定形の箱に入るお荷物だけ  
ご自身で梱包をして節約!  
すぐに必要ではない  
お荷物は船便で割安に



**節約**

**単身プランSea**

定形の箱に入るお荷物だけ  
ご自身で梱包をされる方  
必要な荷物を  
最短の所要日数でお届け



**早い**

**単身プランAir**

各サービスの詳細はウェブサイトにてご覧いただけます!

[www.yamatoamerica.com/cs/](http://www.yamatoamerica.com/cs/)



フリーダイヤル  
**1-866-5-KIKOKU**  
5 4 5 6 5 8

日本以外の世界中へのお引越・米国内のお引越も!

米国ヤマト運輸 ワシントンDC支店  
22930 Quicksilver Drive, Unit 115  
Dulles VA, 20166  
Phone: (703) 661-3501  
Email: wasoperat@yamatoamerica.com



TM パスポくん

あつはこの3つ！

いよいよ海外赴任！

転出届を提出したら



## ① 在留届の提出

3か月以上国外に滞在する場合、在留届の提出が義務です！  
滞在中、安全に関する情報を受け取ることができます。

[出国90日前からオンラインで提出できます](#) →



## ② 在外選挙人名簿への登録

国外からも衆議院・参議院の国政選挙に投票できます！  
出国前に「[出国時申請](#)」を行い、出国後に現地の日本大使館・  
総領事館から「在外選挙人証」を受け取ります。



## ③ マイナンバーカード

出国前に「[国外継続利用申請](#)」を行うことで、国外でも  
お手持ちのマイナンバーカードを引き続き利用できます！



滞在先では、パスポートの  
盗難・紛失にご注意を！



## 在留届

現地での住所や電話番号が決まっていなくても、  
90日前からオンラインで提出できます。



ゴルゴ13×外務省  
中堅・中小企業  
海外安全対策マニュアル

© さいとう・たかを



在留届を提出していると、こんなに安心

### ■ 現地の日本大使館・総領事館から領事メールが届きます

現地の危険情報、スト情報、災害情報などの安全情報を始めとする滞在に不可欠な情報が配信されます。



パスポくん

### ■ 緊急時にあなたの安否を確認します

滞在先の国・地域で緊急事態が発生した場合に、現地の日本大使館・総領事館は、在留届に登録された情報を用いて、安否確認や日本の留守宅への連絡を行います。

ここからアクセスしてね！

外務省  
オンライン在留届



<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

## 在外選挙人名簿への登録（出国時申請）

<申請できる方>

国内の最終住所地の市区町村の選挙人名簿に登録されている方  
(転出予定日までに当該最終住所地に3か月以上居住している方に限る。)



めいすいくん

<申請できる期間>

転出届の提出日から転出届に記載された転出予定日まで

### STEP 1

最終住所地の市区町村の選挙管理委員会に対し、本人確認書類（パスポート・マイナンバーカード・運転免許証など）を提示して、在外選挙人名簿への登録を申請する。

### STEP 2

在留届を提出する。  
※ 出国前に現地での住所が決まっていな方は、現地での住所が決まり次第、在留届の住所欄のアップデートをお願いします。

### STEP 3

出国後、現地の日本大使館・総領事館から連絡を受けたら、窓口又は郵送（ご自身で選択できます。）で在外選挙人証を受け取る。

※ 出国後に日本大使館・総領事館で在外選挙人名簿への登録を申請することもできます。

## マイナンバーカード（国外継続利用申請）

<申請できる方>

国外への転出を予定しており、転出前に有効なマイナンバーカードをお持ちの方

<申請できる期間>

転出届の提出日から転出届に記載された転出予定日の前日まで



マイナちゃん

※ 出国後に日本大使館・総領事館で新たに国外転出者向けマイナンバーカードを申請することもできます。

## 広告募集のご案内

### JCAW会報に広告を掲載しませんか？



広告のイメージ図

JCAWは、ワシントンDCにおける日本人コミュニティの重要な情報発信元であり、商工会議所として地域社会において重要な役割を果たしています。

そんなJCAWの会報を通じて、貴社の広告や宣伝を効果的に発信しませんか？

会報の広告にはリンクを設定でき、クリック一つで貴社のウェブサイトやEメールアドレスにアクセス可能です。さらに、年間契約でお得なプランもご用意しております。

詳細は、ぜひJCAW事務局までお問い合わせください。

#### 料金体系（2025年1月からのレート）

広告掲載先	サイズ	商工会会員		非会員	
		月料金	年料金	月料金	年料金
会報※	1/4ページ	\$60	\$550	\$90	\$790
	1/2ページ	\$120	\$1,090	\$150	\$1,340
	1ページ	\$240	\$2,180	\$290	\$2,620

※ 会報広告 原稿制作費は当広告掲載料金に含まれません。原稿は広告主様にて手配願います。1年（1月～12月）契約で1回割り引きとなります。（会報は年10回発行）

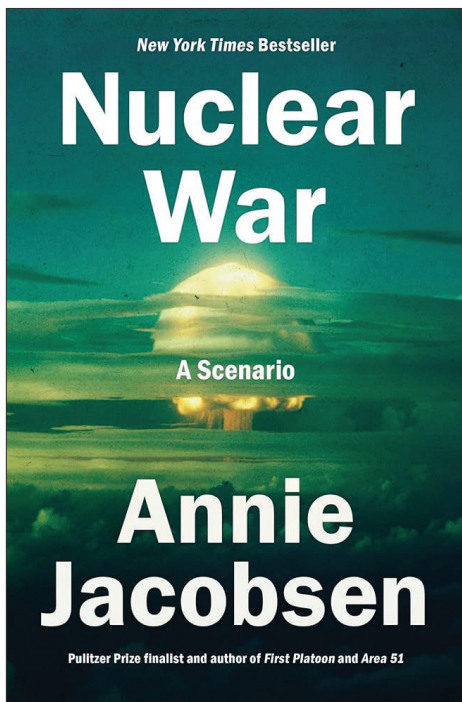
#### お問い合わせ先

Japan Commerce Association of Washington, D.C., Inc.  
1819 L Street N.W., Suite 410, Washington, D.C. 20036  
TEL: 202-463-3947 FAX: 202-463-3948  
Email: [office@jcaw.org](mailto:office@jcaw.org) URL: [www.jcaw.org](http://www.jcaw.org)



今月の書籍紹介  
これが現実として起きるのだ  
核の脅威 邦訳が待たれる  
「核戦争：シナリオ」  
アニー・ジェイコブセン

ポトマック・アソシエーツ 池原 麻里子



「核戦争：シナリオ」  
アニー・ジェイコブセン  
(ペンギン・ランダムハウス)

2024年10月、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞の朗報が届いたのは、原爆投下79年後。

著者は数々のベストセラーを書いたノンフィクション・ライターで、数十人の専門家を十年以上取材し、大量の専門書を理解。核戦争のシナリオを鮮明に描いた本書は、ニューヨーク・タイムズ・ベストセラーだ。

まず、1945年8月の原爆広島投下の被害者少女中村節子、蜂谷道彦医師の体験談から始まる。中村氏は2017年にノーベル平和賞を受賞した核兵器廃絶国際キャンペーンICANの創設者の1人。蜂谷氏は被爆者の治療と原爆症の研究をし、『ヒロシマ日記』にその苦悩を記録した。

そして、次は1960年に作成された戦略航空軍団本部でのソ連との核戦争計画の内容が紹介されている。第一波の核兵器は沖縄付近の原子力空母から離陸した戦闘機から投下される。最終的には40メガトンが投下され、これは広島に投下された原爆の4000個分(!)、第二次大戦4年間余に投下された従来型爆弾の20~30倍の威力だ。死者は6億人で、世界の人口の30億人の20%に相当。

その後は近未来に核戦争が勃発した場合のシナリオを、刻々と記している。

それは核兵器の父、ロバート・オッペンハイマーの有名な『バガヴァッド・ギーター』からの引用「われは今、死となり、世界の破壊者になった」という一節通りである。

まず、北朝鮮が突然、ワシントンDCとカリフォルニアの原子力発電所を標的にICBMを発射する。ペンタゴンに投下された1メガトンの核爆弾で最初の2分で百万人が死亡。米国は核兵器で反撃。ロシア、中国も米国攻撃に加わり、第三次世界戦争となり、たった72分で最低20億人が死に至る。

リーダーや軍部の計算違い、ミスコミュニケーション、予期せぬ技術の不備、狂ったリーダーによって、アルマゲドンはいつでも起こりうる。その結果、数万年の人類の進歩は一瞬にして消滅する。人間も含めた生き物はほぼ全滅。生き残った人間も原爆症に苦しむことになる。

火災によって大気中に浮遊した煤や塵の微粒子が日光を遮って、気温が低下する人為的な氷期「核の冬」が訪れ、何年も続くことになる。プランクトンを含む植物は光合成ができず枯れ、それを食糧とする動物が餓死。食糧連鎖が不可能となる。

人間のスキルで役立つのは狩猟採集能力で、それを持つアマゾンなどの原住民や兵士だけが生き延びることができる。現代人の誰にも生存能力はないのだ。地下に住み、必要な時だけ暗くて寒い地上に出ることになる。生存するのは少数だから、近親交配が起き、遺伝病や障害者が増え、免疫も低下して、生存力は低下する。

著者の取材した専門家の誰もが、核戦争のもたらす結果を熟知しているが、誰もそれを警告しようとしな

アインシュタインは、核兵器で人類が想像した12,000年の文明の進歩が消滅し、第四次戦争は棒と石で戦われることになると予想した。

核戦争後、現在の知識は全面的に消滅し、北朝鮮、ロシア、米国、中国、イランなどが敵なのでなく、最初から敵は核兵器だったのだと知ることになる。

現在、9か国が核兵器を所有している。そのうち北朝鮮、ロシア、米国など多くの国で1人の人間が核兵器使用の決断を下すことができる。

米国の原子力科学者会報が定期的に発表している、人類の終末までの残り時間を示すDoomsday clock(終末時計)は深夜90秒前だ。

(New Leader 2024年12月号より転載)



Illustration by Emi Kikuchi

## English Rescue by Jennifer: 「Language and Culture」

ジェニファー・スワンソン

---

---

### Hot Topics – Judicial Review

With the change of administrations and flurry of executive orders, we are seeing federal court challenges at multiple levels. To make sense of this system, this year we will be focusing on the US Constitution, Constitutional Amendments and historical Supreme Court cases that have shaped the way laws are interpreted and how Americans expect our rights to be protected.

Last month we provided an overview of The U.S. Constitution along with the 27 amendments. We also explored the system of checks and balances and the seven articles that establish the government.

This month we will explore the concept of Judicial Review, which was not included in the original articles of the Constitution. Judicial review is the power of a court to examine laws, government



actions, or decisions and determine whether they are constitutional. If a law or action violates the constitution, the court can declare it invalid or unconstitutional.

In the U.S., this principle was established in the 1803 Supreme Court case *Marbury v. Madison*, where the Court asserted its authority to interpret the Constitution and strike down laws that conflict with it. Judicial review is a key part of checks and balances, ensuring that no branch of government exceeds its authority.

Here's a real-world example of judicial review in action:

#### ***Brown v. Board of Education (1954)***

Before this case, racial segregation in public schools was legal under the *Plessy v. Ferguson* (1896) ruling, which established the “separate but equal” doctrine. This meant schools could be segregated as long as they were supposedly equal in quality.

However, in *Brown v. Board of Education*, the Supreme Court reviewed segregation laws and ruled that they violated the Equal Protection Clause of the 14th Amendment. The Court found that “separate but equal” was inherently unequal and therefore unconstitutional.



By using judicial review, the Supreme Court overturned *Plessy v. Ferguson* and required schools across the country to integrate, significantly advancing the Civil Rights Movement.

This case demonstrates how judicial review allows courts to strike down laws that contradict constitutional principles.

Here is a more recent example of Judicial Review:

### Supreme Court's Rejection of Trump's Foreign Aid Freeze (2025)

Recently, the Supreme Court rejected the Trump administration's attempt to freeze \$2 billion in foreign aid, upholding a lower court's order to release the funds. The 5-4 decision indicated potential limits to the president's power over federal spending, showcasing the judiciary's role in checking executive actions.

This case illustrates how judicial review functions as a check on presidential powers, ensuring that actions taken by the executive branch comply with constitutional principles and legal statutes.

- <https://supremecourthistory.org/supreme-court-justices/>
- <https://www.uscourts.gov/about-federal-courts/educational-resources/about-educational-outreach/activity-resources/about>
- <https://apnews.com/article/supreme-court-trump-usaid-foreign-billions-30b8bde0b16c0bd68f8b690f14923c50>

You can go see the Constitution along with other important documents at the National Archives, right here in Washington, DC. <https://www.archives.gov/founding-docs>

- <https://kids.britannica.com/kids/article/United-States-Constitution/353886>
- <https://www.senate.gov/about/origins-foundations/senate-and-constitution/constitution.htm>
- <https://encyclopediavirginia.org/383hpr-5adeb3c3ea80ee4/>

\*Disclaimer- I am not a lawyer and am providing information from my own perspective.



#### ～Jennifer Swanson プロフィール～

日本にて7年在住中に、高校英語教師の経歴を持ち、日本企業でも働いた経験を生かし、現在は米国大学講師、日米協会講師、在米日本人に英語レッスンの他、米国人に日本語も教える。日米でのさまざまな経験を基に、“頻出テーマで はじめてのTOEFLテスト 完全攻略”(高橋書店: Jennifer Swanson/四軒家 忍 (著))を出版、多方面から楽しい英語レッスンを展開しています。

[jenniferswanson.org](http://jenniferswanson.org)





### 3月号 編集後記

春を感じさせる気温の日が多くなり、日照時間が徐々に長くなっているのに加えて、サマータイムになって一気に春の訪れを感じます。しかしながら、トランプ政権発足後、毎日のように発信されるアグレッシブな通商政策、外交政策、国内政策に翻弄されて、季節感を感じる間もなく春を迎えようとしているという方々が多いのではないのでしょうか。「次は4月2日の相互関税」と言った具合に「関税賦課の期日」に目まぐるしく追われているうちに、気が付くともうすぐ4月となりますね。

それはそれとして、日米関係及びワシントンDCの春を象徴するイベントとして、今年も桜祭りが予定されています。一連のイベントが今月下旬から始まり、来月中旬のストリートフェスティバルでクライマックスを迎えます。桜の開花とともに春の訪れを満喫すると同時に、ワシントンDC在住の日本人としては日米関係の歴史を改めて振り返る良い機会かと思えます。商工会も桜祭りを支援しています。みんなで盛り上げましょう。

岡崎・岡本

---

会報に関するお問い合わせにつきましては、[JCAW事務局](#)までご連絡ください。

---